

真夏の夜の琵琶  
夢の宴

薩摩琵琶 演奏：坂田美子・・・平成14年8月1日

曲目：祇園精舎 耳なし芳一 他



平家物語 祇園精舎

祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。  
娑羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらわす。  
おごれる人も久しからず、ただ春の夜の夢のごとし。

たけき者もつひには滅びぬ、ひとへに風の前の塵に同じ。

遠く異朝をとぶらへば、

秦の趙高、漢の王莽、梁の周伊、唐の祿山、

これらは皆旧主先皇の政にも従はず、

楽しみをきはめ、いさめをも思ひいれず、

天下の乱れむことをさとらずして、

民間の愁ふるところを知らざつしかば、

久しからずして、亡じにし者どもなり。

近く本朝をうかがふに、

承平の将門、天慶の純友、康和の義親、平治の信頼、

これらはおごれる心もたけきことも、

皆とりどりにこそありしかども、

まぢかくは六波羅の入道前太政大臣 平 朝臣

清盛公と申しし人のありさま、

伝え承るこそ、心もことばも及ばれぬ。



虎ノ門、石田琵琶店

4代目当主「石田不識」さんと

奥様の「嘉子」さん